

コープやまぐち奨励賞・学生の部

YPU TFT project

代表者 井上 沙織（くらしづくり分野／山口県立大学）

活動の動機・目的

世界の資源は有限であり、私たちは食べ物を分かち合っている。先進国では有り余る食品があり、肥満や生活習慣病に悩む中、途上国と言われる国では栄養不足、貧困、飢餓に苦しむ人がいる。そのような食の不均衡を食を通じてなくしていきたいという思いから、TABLE FOR TWO(二人の食卓)として活動を行っている。特に、私たちは学生だからこそできる活動により食の問題に取り組んでいる。

※TFT・・・2007年、日本初、世界の食糧問題の解決に取り組む「特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International」東京本部が設立された。2009年、TFTを支援している大学生による学生団体「TFT UA」が設立され、主に大学の学生食堂へのTFT導入をめざし、全国の大学へ活動の輪を広げようと活動中。2009年12月より山口県立大学の学生有志により、学食へTFTを導入。（中四国の国公立大学で初）

活動の内容

①TFT ランチの提供

※TFT ランチのしくみ・・・学生の考案したTFTメニューを購入すると、1食につき20円が寄付される。20円は、開発途上国の給食1食分。学食でメニューの1食をとるごとに、開発途上国の子どもに1食が贈られるという仕組み。

・大学の学食にて、年に2～3回開催

春ランチ：「担担麺・苺ムース」2250円寄付

夏ランチ：「ビビンバ丼」1420円寄付

・10月消費者庁主催で開催された「エンカル・ラボ in 山口」では、山口県の地酒《山頭火》と長門の《ゆずきち》を使ったプリンを試食してもらい、【地産地消】【途上国支援（国際協力）】の視点でTFTランチについて広く知ってもらう機会とした。

・11月大学祭で、考案した地元の食材を使用したデザートや、フェアトレードチョコレートやコーヒーを販売。

②出前ワークショップの開催

夏休み小～大学生を対象にチョコレートの原料カカオ豆にかかわる人たちの暮らしを体験するワークショップを開催。

③おにぎりアクションに参加

※おにぎりアクション・・・決まった期間中に自身のSNSに特定ワード付きで写真を投稿すれば、1枚で5食分の給食（約100円）がアフリカやアジアの子どもに届く。寄付金は協賛企業が払う。企業にも社会貢献活動をPRできる利点がある。

・YPU TFT projectも、積極的に参加するとともに、SNSなどで発信し参加を呼び掛けた。

④外部団体とのコラボでイベントを開催

2019年1月、JA周南や山口市内のお店と協力して「Yamaguchi For Two」を開催。海山の自然に恵まれた山口県の質の高い食材で作ったTFTメニューで食事を提供。

これからめざしたいこと

山口の学生から山口の人や世界の人々へ発信できる、国際協力の形があることを知ってもらいたい。今日食べたもので、世界の誰かを救うことができるかもしれない、そんなきっかけを山口県にたくさんちりばめていけるように頑張っていきたい。



ランチの提供



みんなで「T」